



変電所に刻まれた弾痕の跡

平坦で広大な面積をもつ武蔵野台地には、昭和 10 年代から数多くの軍事施設や軍需工場が建設されました。首都近郊の東村山市には、1942 年に東京陸軍少年通信兵学校が神奈川県相模大野から移転してきました。戦後、東京陸軍少年通信兵学校の建物は高等逓信講習所や外地引揚者の寮に使用され、さらにそれを利用して東村山中学校（現第一中学校）も開校、その後も跡地に私立の高等学校などが設置され東村山の文教的な地域となっています。

一方、東大和市には、1938 年に東京瓦斯電気工業（株）〈翌年に国策により日立航空機（株）に社名変更〉が移転してきました。日立航空機（株）は、1945 年の 3 回にわたる米軍機の爆撃によって工場は大破しましたが、変電所は戦災時のまま奇跡的に残されました。その後、平和を願う多くの人たちの熱意と努力で、1995 年に東大和市の史跡として指定されました。

今回は、東村山市指定旧跡の「東京陸軍少通信兵学校跡地」と東大和市指定史跡の「旧日立航空機株式会社変電所」を、武蔵野の面影を残す野火止用水を散策しながら訪ねます。

■3月16日(土) 午後 1 時 小川駅(西武国分寺線)改札口集合 ～玉川上水駅解散(4時頃)

〈雨天の場合は戦災変電所のみ見学〉

ガイド 勅使河原 彰 (東村山市文化財保護審議会委員)

※戦災変電所では、東大和市郷土博物館の職員の方に現地解説をお願いしています。

コース 小川駅 → 旧跡「東京陸軍少年通信兵学校跡地」→ 野火止用水 → 野火止緑地 → ホタルの里 → 史跡「旧日立航空機株式会社変電所」 → 玉川上水駅・解散



東京陸軍少年通信兵学校正面



旧日立航空機株式会社変電所

問合せ
文化財保存全国協議会
関東委員会
十菱 090-2467-7780
勅使河原 090-7823-9280